

患者の皆様へ

平成 30 年 3 月 10 日

呼吸器外科

現在、千葉大学医学部附属病院呼吸器外科では、慢性膿胸に対する clagget 変法に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では慢性膿胸の治療を受けられた患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名「膿胸術後の閉鎖方法に関する後方視的研究」

2. 研究の意義・目的

膿胸の治療原則は瘻孔の閉鎖、腔内の清浄化と死腔の消滅である。死腔が残存する場合、胸郭成形を考慮するのが一般的ですが、手術困難症例には Claggett 変法による閉鎖が選択されます。当施設では適応症例に対して胸腔チューブドレナージ後に、カナマイシンと硫酸ポリミキシン B を胸腔内に注入してから閉鎖する Claggett 変法を用いています。慢性膿胸治療において、Claggett 変法の治療意義に関して検討を行います。

3. 研究の方法

慢性膿胸に対し、2013 年 8 月から 2017 年 9 月までに手術を行った患者様の臨床情報（年齢、性別、現病歴、既往歴、喫煙歴など）、採血検査、細菌検査を解析・検討します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器外科教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をし

ますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月29日改訂）に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関　　： 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

本件のお問合せ先： 医学部附属病院呼吸器外科

医師 田村 創

043（222）7171 内線 5464